作词：坂井季乃

作曲：增谷賢

信じていたの　小さな頃に

从童年那时候 就一直深信着

絵本の中にいたお姫様は強いもの

画本当中的公主殿下是位坚强的人

守られること　守りたいこと

被他人守护着 也希望守护他人

夢なんて見るだけじゃいつまで経っても叶わない

梦想若只在原地盼望的话无论经过多久都不会实现

守るべきものがあって　私は強くなりたいから

因为拥有了值得守护之物 所以想要变得更坚强

笑うことをやめたの　すべてが叶うその日まで

随之也放弃了微笑 直到将所有实现的那天为止

独りよがりとだれかが笑う

有人嘲笑我很自以为是

聞こえないふりしてぎゅっと拳を握るけど

尽管装作没听见的我暗暗地握紧了拳头

でも本当は気付いてた　私はどこで間違えたの？

然而实际上已经注意到 我到底是哪里走错了

強く握りしめすぎて　大事なものを壊してた

握得太紧 而破坏了重要的事物

長い旅の途中でこれ以上独りじゃ進めない

在漫长的旅途中已经再也无法独自前行

迷子のように立ち尽くした私にそっと微笑んだ

对着如同迷路般停驻在原地的我温柔地报以微笑

守るべきものに会って　独りじゃ強くなれないこと

邂逅了值得守护之物 明白了凭一己之力无法变得坚强

笑うことを思い出した　絵本の中で見た笑顔

也回想起该如何去笑 那便是曾在画本中见过的笑容